

価値創造の軌跡I

ビックカメラは、企業理念である「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する進化し続ける“こだわり”の専門店の集合体」を実現するために、取り扱い商品を拡大するとともに、「都市型」×「駅前」×「大型」を中心とした店舗出店やインターネット通販事業の拡大を進めてきました。またロードサイド型店舗を運営する株式会社コジマやリユース事業・サポートサービス事業を強みとする株式会社ソフマップ等と提携し、グループの強化にも努めてきました。

A お客様第一主義の実践・変化対応

時代の変化やお客様の要望に応じて取り扱い商品を拡充

- 1968年3月 群馬県高崎市で写真フィルムの現像所「高崎DPセンター」を設立
お客様の「早く写真を見たい」という要望にこたえるべく、スピード仕上げサービスを提供
- 1978年5月 池袋北口でカメラおよび関連商品の販売会社として創業
写真の現像だけでなく、カメラ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、テレビなどお客様の要望にあわせて関連する商品の取り扱いを拡充し、時代の変化に対応



当時の池袋北口店

B 豊富な品揃え“専門性と先進性”

「“こだわり”の専門店の集合体」として、さらなる品揃え拡充に挑戦

- 1992年9月 池袋本店の開店に際し非家電商品のスポーツ用品(ゴルフ・テニス)、おもちゃ、寝具などの取り扱いを開始
- 1992年8月 東京羽毛工房、2001年11月 ビック酒販を設立し専門性を追求、2011年8月 有楽町店にて一般薬の取り扱いを開始し、取り扱い商品を拡充
- 1994年 パソコン需要の高まりに早くから着目し「ビックパソコン館」を設立
ビックカメラ内のパソコン販売部門を強化、販売員のスキルアップ教育などを行う



C ビックカメラのビジネスモデルを体現する

「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の店舗を展開

- 2001年 立川店、なんば店、有楽町店、札幌店と店舗面積10,000㎡級の大型店を1年に4店舗開店。2002年 新宿西口店開店、「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の現在のビジネスモデルの礎を築く



立川店(2001年1月開店)



なんば店(2001年5月開店)



有楽町店(2001年6月開店)



札幌店(2001年7月開店)

D “若けりゃいいってもんだ”の企業風土のもと 従業員の自主性を尊重した人財育成・“権限委譲”

- 店舗で活躍する若い人財を店長などの要職に抜擢するなど、チャレンジできる企業風土があり、過去には入社5年目の20代店長や30代で関連会社社長なども輩出
- 2001年 大型店の複数出店に伴い、新入社員を大量採用したタイミングで店舗教育室を新設し、専門職制度の改定をはじめ、「“こだわり”の専門店の集合体」としての人財育成に注力



E 自社物流基盤の構築・強化、EC事業の拡大 事業規模拡大に向けたキャパシティ拡大とラストワンマイル品質向上

- 1993年3月 東京サービスステーションを設立し、エアコンなどの設置工事対応の仕組みを確立
- 2004年5月 ジェービーエスの株式を取得して自社物流を開始
商品の販売だけでなく配送・設置・工事まで行うことで、ラストワンマイル品質向上に注力
- 2012年 コジマとの業務提携を機に全国の物流拠点を25拠点から9拠点に統廃合し、グループ内の物流を効率化
- 2017年 船橋商品センターを開設、2018年には大阪商品センターを増床し、さらなる需要拡大が見込まれるECに対応可能な入出荷・保管キャパシティ、サービスレベルを追求 ※2022年8月期のグループEC売上高は2018年度比で約1.7倍



F 購入・サポート・買取・リユース・リサイクルというお客様のライフサイクル すべてを網羅するとともに、循環型社会にも貢献

- 2001年12月 家電のリサイクルを行うフューチャー・エコロジーの設立
- 2005年1月 ソフマップと業務資本提携、パソコン事業の強化だけでなく、ソフマップの強みである買取・リユース販売を通じてリユースエコノミーサイクルを促進
- 2008年4月 環境省が認定する「エコ・ファースト制度」の第1号に認定
循環型社会の貢献に積極的に取り組む
- 2018年7月 買取総合サービス「ラクウル」を開始



エコ・ファーストの約束

G すべてはお客様のために お客様に喜んでいただけるサービスの提供

- 1992年12月 ビックポイントカードを導入、当時はまだまだあまり普及していなかったポイントサービスを提供
- 2005年1月 家電小売業界で初めて電子マネー「Suica」を決済手段に導入
ターミナル駅前に店舗が多いビックカメラと親和性の高い決済手段の導入により、お客様の利便性が向上
- 2006年3月 ビックカメラSuicaカードの募集を開始
ビックポイントカード+Suica+クレジットカードの3つが1枚になったカードで、ビックポイントからSuicaに交換できるなど便利な機能を搭載し、お客様より高い評価をいただく



ビックポイントカード



ビックカメラSuicaカード



ビックカメラSuicaカード
10周年記念キャンペーン

価値創造の軌跡Ⅱ

ビックカメラは「価値創造の軌跡Ⅰ」でご紹介したような歴史を経て
 「こだわり」の専門店の集合体を磨いてきました。
 その歴史を業績推移とともに振り返ります。

A お客様第一主義の実践・変化対応

D “若けりゃいいってもんだ”の企業風土のもと従業員の主体性を尊重した 人財育成・“権限委譲”

B 豊富な品揃え“専門性と先進性”

1992
 ●(株)東京羽毛工房
 (現(株)生毛工房)設立
 ●池袋本店開店
 1994
 (株)ビックパソコン館設立

2001
 (株)ビック酒販設立

2011
 ドラッグ事業を有楽町店で
 開始

売上高 ■ 従業員数 ● (連結)
 ※年数は西暦表示

C 「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の店舗を展開

1980
 (株)ビックカメラ設立
 旧 池袋北口店開店

2001
 有楽町店、立川店、なんば店、
 札幌店開店

2002
 新宿西口店開店

2012
 ビックロ 新宿東口店開店
 (現 新宿東口店)

E 自社物流基盤の
 構築・強化、EC事業の拡大

2003
 インターネットショッピング
 サイト「ビックカメラ.com」
 開設

2006
 東松山商品センター
 開設(埼玉県)

2022年8月期 売上高
7,923 億円
 2022年8月31日時点
 従業員数
9,699 人

F ライフサイクルの網羅、
 循環型社会への貢献

2001
 (株)フューチャーエコロジー
 設立

2006
 (株)ソフマップ
 子会社化

2008
 環境省の「エコ・
 ファースト制度」第
 1号に認定される

2010
 (株)ビックアウト
 レット設立

G お客様に喜んでいただける
 サービスの提供

1992
 ビックポイントカード導入

2005
 電子マネー「Suica」
 導入

2006
 ビックカメラSuica
 カード募集開始

2006
 ジャスダック
 証券取引所に
 株式上場

2008
 東京証券取引所市場第一部
 に株式上場

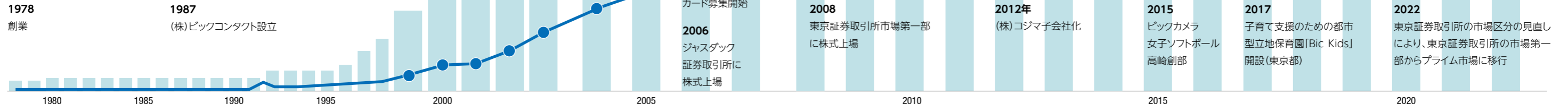
2012年
 (株)コジマ子会社化

2015
 ビックカメラ
 女子ソフトボール
 高崎創部

2017
 子育て支援のための都市
 型立地保育園「Bic Kids」
 開設(東京都)

2021
 (株)ビックライフソリューション設立
 コーポレートベンチャーキャピタル
 「ビックイノベーションキャピタル」
 創設

2022
 東京証券取引所の市場区分の見直し
 により、東京証券取引所の市場第一
 部からプライム市場に移行



1968-1978 草創期	1978-1999 発展期	1999-2005 飛躍期	2005-2012 変革期	2012-2020 挑戦期	2020- 転換期
<ul style="list-style-type: none"> 1989年4月 消費税導入(3%) 1989年11月 ベルリンの壁崩壊 1991年3月 バブル崩壊 1995年1月 阪神・淡路大震災 1997年4月 消費税率改正(3%⇒5%) 	<ul style="list-style-type: none"> 2000年6月 大規模小売店舗立地法施行 2001年9月 アメリカ同時多発テロ事件 	<ul style="list-style-type: none"> 2008年9月 リーマン・ブラザーズ破綻 2009年5月 家電エコポイント制度開始 	<ul style="list-style-type: none"> 2011年3月 東日本大震災 2011年3月 家電エコポイント制度終了 2011年7月 アナログテレビ放送終了 	<ul style="list-style-type: none"> 2014年4月 消費税率改正(5%⇒8%) 2015年12月 パリ協定採択 2016年1月 日銀マイナス金利導入決定 2019年10月 消費税率改正(8%⇒10%) 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年4月 新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言発出 2021年7月 東京オリンピック・パラリンピック開幕

エンパワメントの強み